

## “被災者に、あったかい豚汁ふるまいたい、 民商のMさん夫妻のよびかけでたきだし支援

27日、鳥取民商のMさん夫妻は「被災者やボランティアのみなさんに豚汁をふるまいたい」と、倉吉市のボランティアセンターのある上灘公民館でたきだしをおこないました。この日、Mさんが準備したメニューは豚汁、カレーの煮付け、甘エビでした。

Mさん夫妻の「たきだしを手伝ってください」というネットでのよびかけにこたえ、塚田成幸東・中部地区委員長（衆院1区候補）、岡田正和党県常任委員、岩永陽



たきだしの豚汁をほおぼる徳島のボランティアのみなさん

民青県委員長もかけつけ、配膳作業など、手伝いました。この日、ボランティアセンターには、徳島県のボランティアのみなさんもいて、あったかい豚汁などの「サプライズ」に、「すごい!」「うれしい」「おいしい」「ありがたい」など口々に、舌つづみをうっていました。Mさんは、「こんなに喜んでもらえてうれしい」と話していました。



豚汁をよそう岩永陽民青鳥取県委員長

## 「知り合いにお願いしてます」「事務所に届けます」 広島、京都、大阪からも、被災者支援募金寄せられる

27日、日本共産党広島県委員会から、被災者支援募金10万円がとどきました。岩永尚之震災対策本部長（県書記長）が、さっそくお礼の電話をかけると、小浜一輝書記長が「広島も二年前の土砂災害では、鳥取のみなさんに大変お世話になりました」「大変ですが、ぜひ、がんばってください」と激励を寄せてくださいました。

大阪の女性からは、「まわりの知り合いに募金をお願いしています」、京都の男性からも「京都府委員会に募金を届けます」といった連絡もよせられています。

県委員会は、県内でも支援募金をおおいによびかけ、「月内にも被災自治体に第一次の募金を届けたい」と話しています。